

疫学（臨床）研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
泌尿器病態学

【研究課題名】大阪市立大学泌尿器科における長期透析（15年以上）患者に対する腎移植の意義の検討

【研究期間】

2001年1月1日から2016年6月30日までに当院で施行した腎移植患者全例を対象とします。

研究期間として倫理委員会承認後 ～2017年7月31日

【研究の意義・目的】

一般に透析期間が長くなるにつれて心血管系疾患による死亡リスクが増加するが、腎移植を行うことにより心血管系死亡リスクは速やかに低下します。しかしながら15年を越えるような長期透析患者に腎移植を行った場合、これが当てはまるかどうかは不明です。今回長期透析患者に対する腎移植の意義を検討します。

【研究の方法】

2001年1月1日以降当院で腎移植を行った患者のうち透析歴が15年以上の群と15年未満の群に分けて患者背景、移植腎機能、合併症の頻度、移植腎成績について後ろ向きに検討します。

【研究参加拒否について】

本研究に参加したくない場合は下記問い合わせ先まで連絡ください。参加しない場合の不利益はありません。

【研究組織】

研究代表者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 大阪市立大学医学部附属病院 泌尿器科 内田 潤次

住所 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

電話 06-6645-3857

FAX 06-6647-4426

E-mail m9492120@msic.med.osaka-cu.ac.jp